

「分娩と麻酔」 投稿規定

(2024年6月23日改定)

1. 投稿にあたって

- 1) 筆頭著者は原則として、日本産科麻酔学会の会員とする。ただし、非会員であっても、編集委員会で承認された場合はこの限りではない。なお原則として非会員には所定の掲載料を請求する。
- 2) 本誌は、何等かの形で産科麻酔学（産科麻酔学・産科蘇生学・産科救急医学・産科集中治療医学）を含む和文・英文原稿を広く受けつける。一般投稿論文（原著・総説・症例報告）、日本産科麻酔学会学術集会発表内容報告（講演・シンポジウム・ディベートなど）、文献紹介、学会報告、座談会、随筆、その他が含まれる。学術集会での発表者に対する投稿の依頼は編集委員会が必要と認めたものとする。
- 3) 一般投稿論文では、所属施設の承認と患者の許諾に関して本文中に適切な形で明記すること。承認や許諾について編集委員会が必要と認めた場合には、関係書類の提出を求める場合がある。
- 4) 一般投稿論文の内容は他誌に未発表であり、また投稿中でないことが必要である。
- 5) 誓約書に、著者全員が署名・捺印し添付のこと。
- 6) 利益相反に関するチェックリストに記入をし、添付のこと。
- 7) 一般投稿論文では複数の査読者による査読が行われ、査読者の見解を踏まえ編集委員会において論文の採否を決定する。日本産科麻酔学会学術集会発表報告（講演・シンポジウム・ディベート）、文献紹介、学会報告、座談会、随筆、その他は査読はなく、編集委員会において審査を行い採否を決定する。
- 8) 査読結果を連絡した論文の再投稿の期限は6週間以内とし、それ以降の投稿は新規投稿として扱う。
- 9) 掲載された文章の著作権は日本産科麻酔学会に属する。

2. 執筆にあたって

1) 構成

- ① 原稿の種類を問わず、1ページ目に表題、著者名、所属機関名、代表著者連絡先（氏名、住所、所属機関名、電話番号、メールアドレス）、原稿論文の枚数と字数、図表の点数を記す。
- ② 以後の構成は表1に従う。

表 1

原稿の種別		構成
一般投稿論文	原著	A
	総説	C
	症例報告	B
学術集会発表報告	講演, シンポジウム, ディベート	C
文献紹介, 学会報告, 随筆, 座談会, その他		C

A: 論文タイトル, 要約 (和文原稿 600 字以内, 英文原稿 200 語以内), 緒言, 方法, 結果, 考察, 結論, 参考文献の順に記載し, 別に図表を付ける. また和文原稿の場合は英文タイトルと 200 語以内の英文抄録を添える. この英文抄録は **Introduction, Results** などの見出し語を必要としない (**unstructured abstract**). また英文原稿および抄録はネイティブスピーカーによるチェックを受けたものとする.

B: 要約 (和文原稿 300 字以内, 英文原稿 150 語以内), 緒言, 症例提示, 考察, 結論, 参考文献の順に記載し, 別に図表を付ける. また和文原稿の場合は英文タイトルと 150 語以内の英文抄録を添える. この英文抄録は **Introduction, Results** などの見出し語を必要としない (**unstructured abstract**). また英文原稿および抄録はネイティブスピーカーによるチェックを受けたものとする.

C: 指定された構成はない.

2) 字数制限

表 2

原稿の種別		字数制限	
		日本語 (字数)	英語 (語数)
一般投稿論文	原著	10000	5000
	総説	12000	5000
	症例報告	6000	1500
学術集会発表報告	講演	12000	5000
	シンポジウム, ディベート	6000	1500
文献紹介		3000	*
学会報告		3000	*
随筆		3000	*
座談会, その他		*	*

字数制限は要約・文献・図表を含む. 図表は大 1 点 800 字 (320 語), 小 1 点 400 字 (160 語) 相当とする.

*は編集部にお問い合わせのこと。

3) 原稿の作成

- ① 文書は Microsoft 社の Word を用いて作成し、楷書、常用漢字、現代かなづかい、横書きで記載する。本文、表は Word、図、写真は Powerpoint で作成のこと。
- ② A4 縦、和文文字 10.5 ポイント、英文文字 12 ポイント、ダブルスペース、各ページにページ番号・行番号を入れ印刷する。
- ③ 図表は本文中に貼りつけず、必ず 1 枚ずつ別紙に貼付する。図と表とでそれぞれ通し番号をつける。図 1 (Fig.1)、表 1 (Table1) のように書き、各々にタイトルが必要。写真の解像度は 300 dpi 以上 (X 線フィルム、スライドは不可)。以上の図表の挿入位置を文中に明記のこと。
- ④ 原則として e-mail で受け付ける。図表はモノクロ掲載とする。カラー掲載を希望の場合には実費負担とする。

4) 用語

- ① 医学用語は「麻酔科用語集」(日本麻酔科学会編)、「産科婦人科用語集・用語解説集」(日本産科婦人科学会編)、日本医学会医学用語辞典(日本医学会医学用語管理委員会編)に従う。
- ② 科学物質名、薬品名、器械名は一般名で記述し、商品名で記述する必要がある場合は、[®] や TM などを付記する。薬品名は、原則としてカタカナ書きとする。
- ③ 外国人名、地名は原語で記述する。ただし適当な和訳のあるもの、慣用されているものは和文で記述する。〔例〕トレンデレンブルグ位
- ④ 度量衡の単位は SI 単位系を原則とするが、日常臨床で広く用いられている mmHg, ml なども認める。除算は「mg/kg/hr」のように記す。

5) 引用文献

文中に引用順に肩つき番号を付け、本文末尾に番号順にまとめる。

- ① 雑誌：題名．誌名(正式略称) 発行年(西暦)；巻数：開始頁－終了頁(略記)。

〔例〕真砂佳代，長田理，矢島直ほか．フェンタニルを併用したプロポフォール TCI (target-controlled infusion) 投与方法における入眠成功率．麻酔 1999;48：256-9.

Ueki R, Okutani R, Fukushima A, et al. Perioperative endocrinological findings in a patient with Bartter's syndrome and living-related renal transplantation. J Anesth 2000;14:105-8.

- ② 書籍：著者名．章名．編集者名．書名．(巻数．版数．) 発行都市名：出版社名；発行年(西暦)．開始頁－終了頁(略記)。

〔例〕松井一幸，菊池博達，体温(体温下降，悪性高熱症)．稲田 豊，藤田昌雄，山本 亨編．最新麻酔科学．下巻．改訂第 2 版．東京：克誠堂出版；1995． p.1639-45.

Mori K, Shingu K, Nakao S. Brain death. In : Miller RD, editor. Miller's anesthesia. Vol 2. 6th ed. New York : Churchill Livingstone ; 2005. p.2955-70.

- ③ 英文論文中の和文文献引用：雑誌名は公式欧文略号を用いる。それがない場合や和文書籍の場合は日本語名をそのままローマ字書きとする。いずれの場合も（In Japanese）と註記する。

3. その他

- 1) 掲載料：本誌は原則として掲載料を徴集しないが、下記に対して実費を申し受ける。
- ① 特別早期掲載：速やかな掲載を希望するときには特別早期掲載として取り扱う。この場合の論文掲載料は、全額著者負担となる。
 - ② カラー印刷：カラー印刷料金分のみ著者負担
 - ③ 超過頁：超過分のみ著者負担
- 2) 校正：掲載論文の印刷は初校のみ著者校正とする。この際には組版面積に影響を与えるような改変は許されない。
- 3) 別刷：別刷の希望部数は著者校正の際に、校正印刷に朱書のこと。30部は無料で寄贈。それ以上は50部単位で有料とする。

4. 論文原稿の掲載順位

論文の掲載は論文受理の順を原則とするが、編集技術上若干前後することもある。編集委員会に一任のこと。

5. 原稿の提出方法

原稿は原則として e-mail で受け付ける。

原稿提出先 (E-mail) : bm@kokuseido.co.jp

〒113 - 0033

東京都文京区本郷 3-23-5-202

克誠堂出版株式会社 内

「分娩と麻酔」編集室

TEL(03)3811-0995

FAX(03)3813-1866

「分娩と麻酔」
論文投稿のための誓約書

論文表題 _____

- 本研究の遂行および論文の執筆についての責務は、全著者が負うものである
- 掲載された文章の著作権は日本産科麻酔学会に属する

- 一般投稿論文は査読を行う
- 学術集会発表論文、文献紹介、座談会、随筆、その他は査読を必要としない

一般投稿論文の内容は、全体、一部を問わず

- 「分娩と麻酔」にも他誌にも未発表である
- 現在どの雑誌にも投稿中でない
- 「分娩と麻酔」に掲載が受理された後に他誌に発表しない
- 臨床研究および症例報告では、所属施設において必要とされる承認および患者の許諾を取得している

以上を確認のうえ（□に✓を入れてください）、本論文を「分娩と麻酔」の

- | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 一般投稿論文原著 | <input type="checkbox"/> 一般投稿論文総説 | <input type="checkbox"/> 一般投稿論文症例報告 |
| <input type="checkbox"/> 学術集会発表論文 | <input type="checkbox"/> 文献紹介 | <input type="checkbox"/> 学会報告 |
| <input type="checkbox"/> 座談会 | <input type="checkbox"/> 随筆 | |
| <input type="checkbox"/> その他（ | | ） |

として投稿します（□に✓を入れてください）

（著者および共著者の署名をしてください）

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

「分娩と麻酔」 利益相反に関する申告書

- 「分娩と麻酔」に投稿をする著者全員が各々に利益相反に関する申告をしてください。
- 「分娩と麻酔」は利益相反の情報を開示します。
- 利益相反の内容が査読過程で考慮される場合があります。

必要事項を記入し、以下の質問にお答えください。

論文題名 _____

筆頭著者 _____

この利益相反の申告を行う著者 _____

1. 本論文によって影響を受ける組織からの金銭的援助（報酬金、旅費、研究費、贈与など）がありますか。

はい いいえ

「はい」の場合の内容

2. 本論文によって影響を受ける組織の雇用歴がありますか。

はい いいえ

「はい」の場合の内容

3. 本論文によって影響を受ける組織からの株の保有や投資をしていますか。

はい いいえ

「はい」の場合の内容

4. そのほかに編集委員会に知らせるべき相反の可能性がありますか。

はい いいえ

「はい」の場合の内容
